

グラニーバッグの作り方

グラニーバッグ（普通サイズ、ショルダー）の作り方

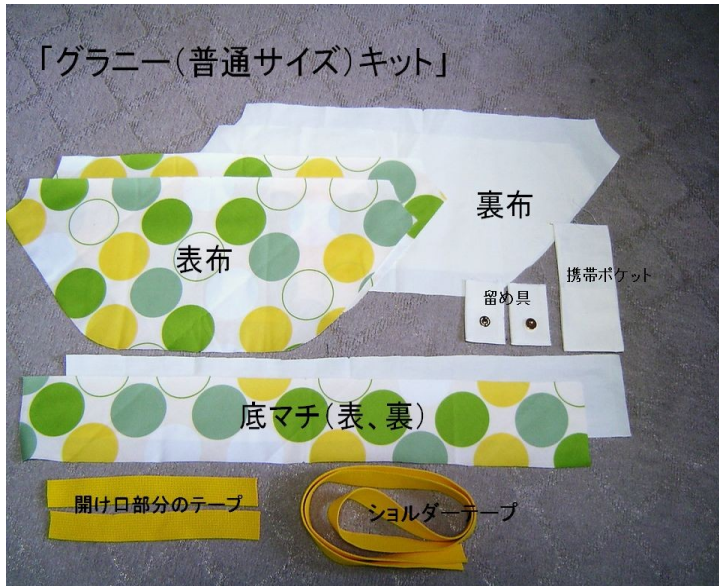


●出来上がりサイズ

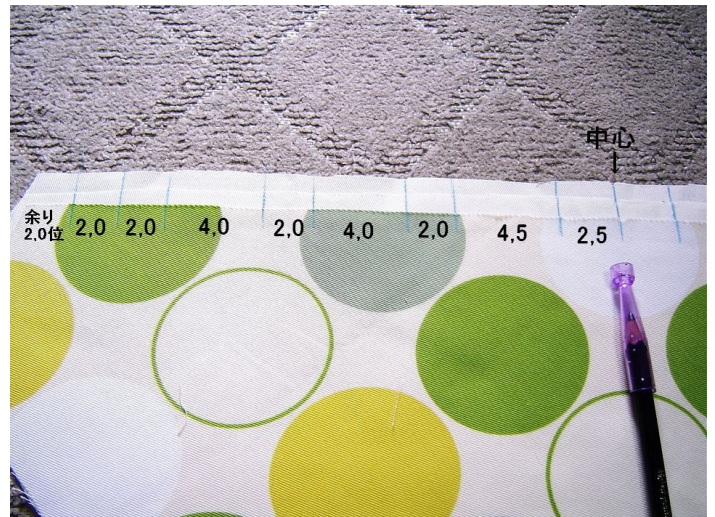
幅：約 30cm

高さ：約 20cm（持ち手を含めた高さ約 40cm）

マチ：約 8cm　持ち手の長さ：約 42cm

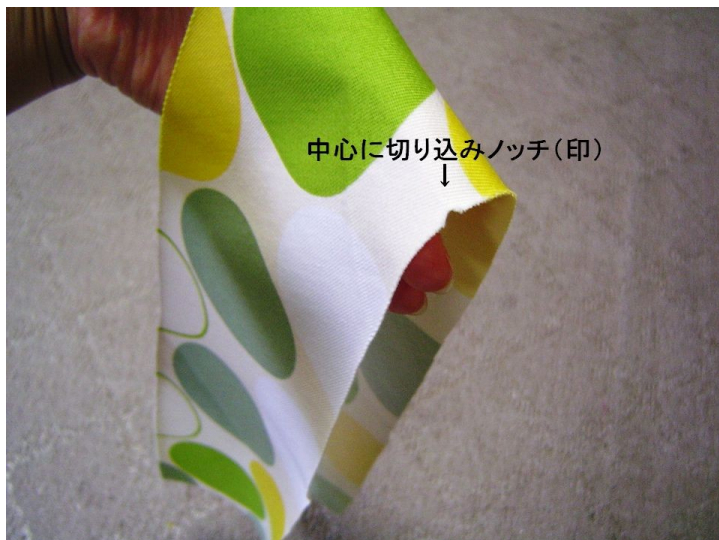


2.表布、裏布は中心から左右にチャコで印を入れる。

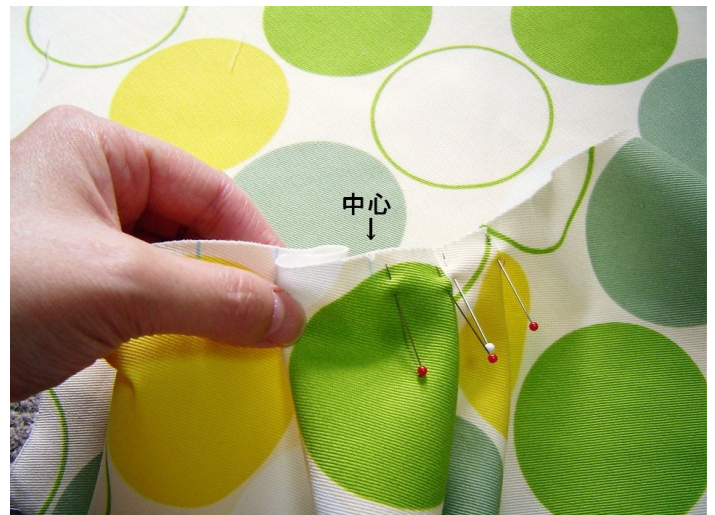


1.印をつける。はさみで切り込みノッチを入れる。

(もしくはチャコ)



3.中心から左右に向かって4,5 4,0 4,0 1つ飛ばした2,0部分をたたむ。



グラニーバッグの作り方

4. たたむとこんな感じ。



合わせた色を選ぶこと。ここではわかりやすくするためにわざと茶色にしています。）



6. 底マチ布と表布を合わせてピン打ちしていくが、まず、底マチ布の中心から左右に向かって合わせていく。



同じように表布2枚、裏布2枚 たたんでピン打ちする。



7. そうすると端で布に差が出てくる。(底マチ布の方が長いことが多い。) 後で表布と裏布を合わせてからカットするので今はそのままミシンをかける。



5. シャツペスパン60番(糸が切れやすいときは絹糸)を用意して、端から5mm位のところにたたんだタックを押さえるためのミシンをかける。(表の布地の色に

グラニーバッグの作り方

8. 端から 1 cm でミシンかける。



両端の差はそのまま気にしない。



表布をひっくり返すとふんわりとしたバッグの形になるのがわかる。



同じ方法で裏布も袋にする。



9. 反対側の表布もつけて表布を袋にする。



10. 表布の袋の中に、裏布の袋を入れて、タック側からピン打ちする。



グラニーバッグの作り方

11.底マチ部分の縫い代は底マチ布側に倒す。



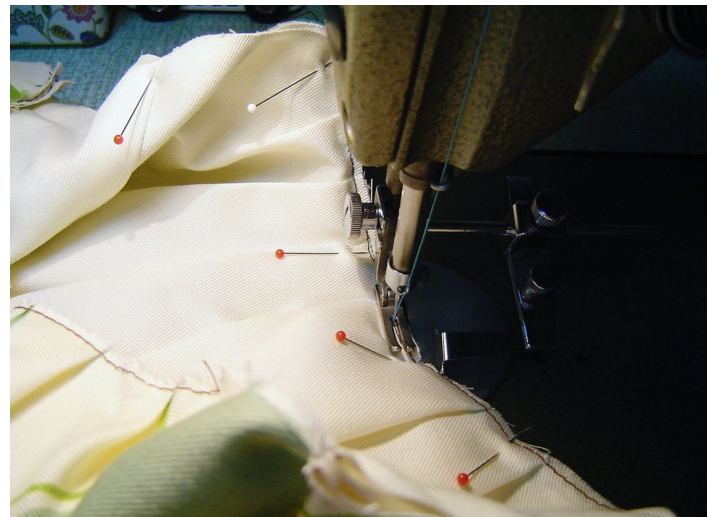
カット後、こんな感じ。



ここで、先ほどの差が出た部分は短い方を合わせてピン打ちする。ピンうち後、はさみでカットするのでピンは邪魔にならないように気をつけてさす。



12.表袋、裏袋を合わせるためにぐるっと一周、ミシンで押さえる。最初にタックを押さえるために縫った所からはじめて、もう一度縫う形になる。(最初の糸の色は茶色、一周縫うための糸の色は水色)



差が出た部分を短い方に合わせてカットする。



タックの部分からマチの部分へ入っていく。



グラニーバッグの作り方

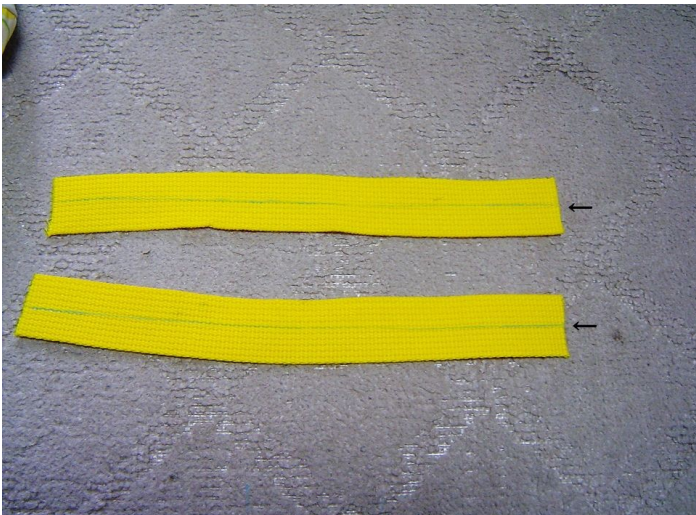
13.ぐるっと一周終わりました。



14.留め具と携帯ポケットをつける。留め具を中心にピン打ちしてから、端から2 cm 位の所にポケットをピン打ちする。(2 cm 離すのは、後でショルダーテープをつける時にポケットを縫わないようにするため。) ここもタックを押さえるために縫ったところをもう一度ミシンで押さえて留め具とポケットがずれないようにする。



15.開け口部分テープの半分にチャコでラインを入れる。



16.袋の内側からテープを当てて、ラインに合わせて、中心の留め具のところは厚みがあるのでラインから5 mm ほど離して押さえる。



そのまま、ひっくり返して内側からピンうちする。(このときのピンうちは布地全部を貫通せずにくすくす程度で大丈夫。留め具が動かなければOK。)



同じように「ラインを見て合わせて、ひっくり返してピンうち」を繰り返す。

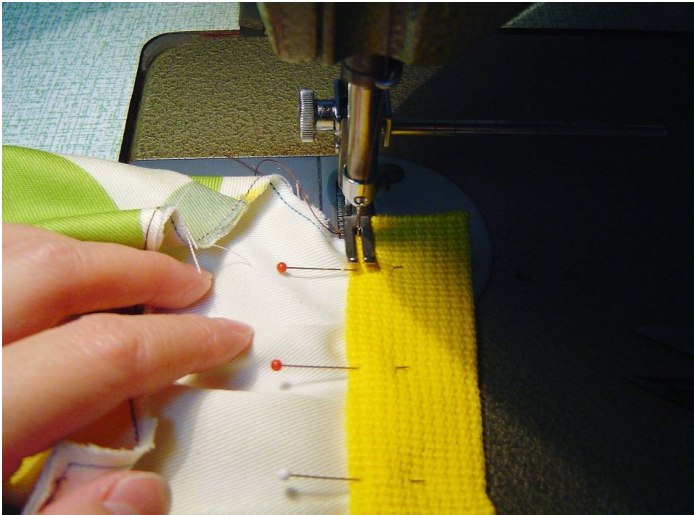


グラニーバッグの作り方

17. ひっくり返してみると厚みのあるところはラインから離れていて、厚みのないところはラインに近くピン打ちされている。



18. テープの端から2 mm 幅ぐらいでミシンをかける。



留め具の部分を縫うときは軽く布地を押し込みながら（無理やり押し込むとミシン針が折れるので）ゆっくりと縫い進む。



19. 縫い終わったらテープを指で半分に押さえるようにして折って（バイアステープのようにして）袋の縫い代をくるむようにする。

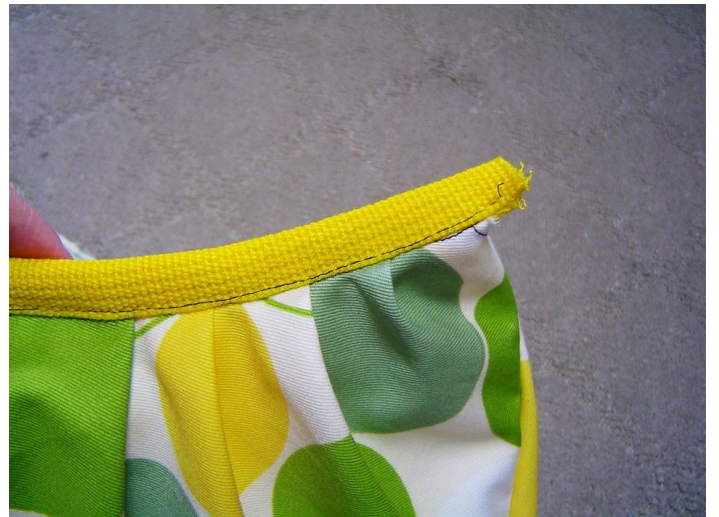


20. そのままミシンで縫っていく。

指でぎゅっと押さえながらゆっくり縫い進む。
最初に縫った糸を隠すようにして押さえしていく。



縫い終わったところは少しはみ出て余る。



グラニーバッグの作り方

2 1. はみ出たテープに斜めに印を入れてはさみでカットする。



2 2. 反対側の開け口部分テープもつけて、はみ出た部分をカットする。



2 3. ショルダーテープの端を1, 5 cm ほど重ねてミシンで押さえる。(きちんと輪になるように、テープがよじれないように注意する。)

ほつれてくるのが気になるときは「ほつれ止めのピケ」を使用する。(なければ木工用ボンドを薄くつける。)これは出来上がってからやっても大丈夫です。

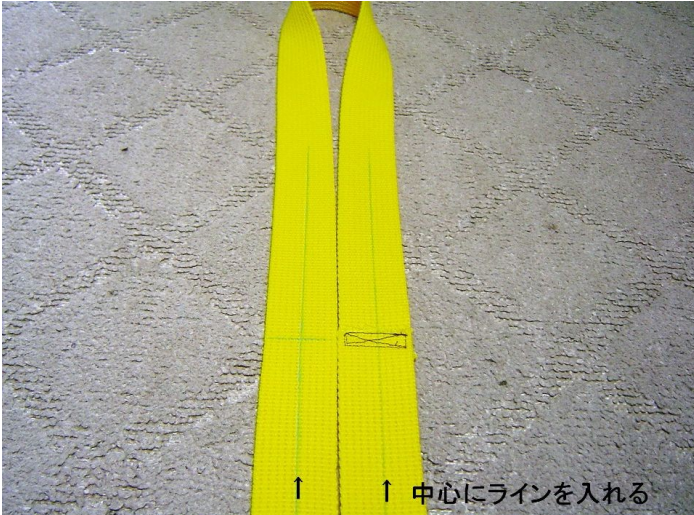


2 4. 輪になったショルダーテープの半分の位置に印を入れる。



グラニーバッグの作り方

25. さらに縦に半分のラインを入れる。



26. 袋のマチ部分の中心（半分に折ったところ）に印を入れる。（ピンでもよい。）



27. マチの中心とショルダーテープの中心を「開け口部分テープ」のときのようにして合わせてピン打ちしていく。

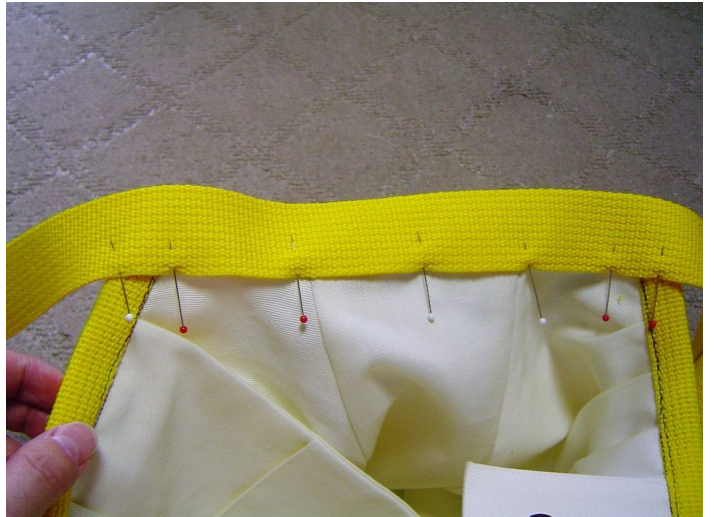
袋の内側からテープを当ててラインに合わせて持つ。



28. ひっくり返してピン打ちする。



同じように繰り返す。



表から見てみると、開け口部分テープのところは厚みがあるのでもうラインから端までの半分あたりまで離してピン打ちしておく。



グラニーバッグの作り方

29 開け口部分テープの少し手前からミシンを掛け始める。厚みがあるのでゆっくりと。それでも針が折れるときは手回しで一目一目進めていく。



ミシンを掛ける場所は矢印のここから～ここまでの部分。

反対側も同じように縫う。



30 指でぎゅっと押さえて半分に折る。ここもバイアステープのように縫い代をくるむようにしてミシンをかける。



31 ショルダーテープの縫いとめた位置の少し手前から縫い始めてぐるっと一周縫う。ここもかなり厚いのでゆっくりと気をつけて縫い始める。(最初に縫った糸を隠すように。)



開け口部分テープのところが今までで一番厚い所になる。(どうしても無理なら手縫い糸で縫う。)



ぐるっと一周終了するとこんな状態！



グラニーバッグの作り方

32. 形を整えて、上から中を見た図。



中にはティッシュの箱が軽く入るくらいのスペースがある。



出来上がり！！お疲れ様でした・・・



33. もし、使っていて汚れてきたら？

手洗い洗剤（エマールやおしゃれ着洗い用洗剤）でもみ洗いしてくださいね。洗い終わったらバスタオルなどではさんで押さえて水分を取り、形を整えて干してください。乾いた後、しわが気になるようでしたら乾いたバスタオルを丸めて中に入れてスチームアイロンをかけてください。

34. どうしてもテープが厚くて縫えない方は、テープの種類を「厚織テープ（PPテープ）」から「綾織テープ」に変更しても作れますが、持ち手は柔らかくなってしまいますので、全体的に形が崩れやすくなります。それでもミシンのことを考えればテープの変更も必要です。テープの幅は変更しても同じように作れます。ただし、タックなどの押さえミシンの幅は5mmより大きくならないように気をつけてくださいね。（最後にくるむときに押さえミシンがはみ出てしまいます。）

